

神奈川県立大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	リヨン第三大学 (フランス)		
所属プログラム・ 学部・研究科	SELF		
報告書提出日	2019年9月29日		
留学予定期間	2019年9月～2020年4月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 600 (€) /合計
 航空券代： 86000 (円) /合計
 ビザ申請関連費： 50 (€相当の円) /合計
 その他（ホテル）： 8688 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

● 6月の中旬

学生寮の申し込みを LYONIII INTERNATIONAL（オンライン）にて行う。
 ※寮の部屋数は限られているのでなるべく早めに行うことをお勧めします。

● 6月の下旬

航空券（エールフランス）の取得。
 ※日本からリヨンまでの直行便はありません。乗り継ぎ時間に余裕のあるものを選びましょう。

● 7月8日

履修登録と学生登録をオンラインにて行う。

● 7月17日

ビザ申請。
 ※想像以上に準備が大変なので、なるべく早めに行うと気持ちも楽になります。

● その他

私はリヨン第三大学に留学をすることを決心する前に、同じ大学に留学経験のある神奈川大学のOBの方と上智大学の学生さんにアドバイスをいただきました。

1.2. 渡航について

・成田空港からリヨンのサン＝テグジュペリ空港までの直通便はありません。そのため、私はアムステルダム経由(スキポール空港)でリヨン（サン＝テグジュペリ空港）に向かいました。その際の乗り継ぎ時間が、自分の場合、55分しかなかったもので、もう少し余裕があればよかったと反省しています。サン＝テグジュペリ空港からは、リヨン第三大学の学生の案内に従って、予約していたホテルに向かいまし

た。その際、空港からリヨンの中心にあるパールデュエ駅 (part-deux) までは、ローヌ・エクスプレスという高速トラムで移動しました。運賃は、片道 16.10€、往復 27.80€です。私は往復のチケットを購入しました。チケット購入は、クレジットカードのみ支払い可能なのでご注意ください。所要時間は約 20 分です。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

リヨン第三大学に留学する人は、寮、ホームステイ、アパートの3つの中から住む場所を選択します。私は寮を選択しました。そして、寮にもルームメイトと生活する部屋と個室があり、私は個室でした。寮の選択は、6月ごろにオンラインで行いました。その際、条件の良い寮はすぐに満席になってしまうので、受付開始次第なるべく早めに申し込みを行うことをお勧めします。寮を選ぶ場合、400€ (デポジット・メンバーシップ代・管理費) と 200€ (別管理費) を事前に払う必要があります。寮に着いてすぐに9月の家賃を払います。自分の寮は271€/月でした。支払い方法は、銀行からの引き落としになります。

私が選択した寮は、9平米と狭い部屋でキッチンも共同でしたが、すぐに慣れることができました。また、寮に洗濯機が3つ、乾燥機が2つしか無かったので少し不便さを感じました。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

フランスの場合、三ヶ月以上滞在する人は、フランス到着後3ヶ月以内に、OFII (フランス移民局) にて必要手続きを済ませなければなりません。その作業は全てオンラインにて行います。簡単な流れは、①大使館のホームページからOFIIのページにアクセスする。②パスポートとビザのページの番号を打ち込んでいく。③オンラインで小切手を購入する (学生ビザは60€) です。手続きはそれほど難しいものではありませんでした。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

●8/30~9/3

学生証の発行、銀行口座の開設 (任意)、資料の配布が行われました。その時、初めて学校に行きました。

●9/4

オリエンテーションがありました。内容は、大学生活全般を説明するものと、学業に関するものでした。自己紹介ビンゴなどのアイスブレイクもあり、良い雰囲気だったのを覚えています。オリエンテーションの後は、現地学生の案内でキャンパスツアーが行われました。続いて、Introduction to life in France and in Lyon というフランスの文化・地理・政治・経済・芸術などを紹介する講義を受けました。この講義は合計8時間のもので、9/6まで3日間に渡って行われました。

●9/5

フランス語のプレイスメントテストが行われました。内容は、リスニング、文法、語彙、リーディングです。時間は90分で全てマーク形式です。ここでの成績で今後のフランス語のクラスが決まるので、しっかりと取り組むことをお勧めします。

●9/5～9/13

フランス語の集中学習期間です。1コマ4時間ととても長いです。（この集中学習期間内に合計16時間の授業を受けました）そして、授業がフランス語によって行われるので、ついていくのに必死でした。しかし、この期間中にかなりのフランス語力が身についたと思います。今後も週1で4時間のフランス語の講義があります。

●9/16

通常授業開始

●9/16～9/27

add & drop period(履修登録確認期間)

※履修登録は7月にオンラインにて行います。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

学習面での留学の目的・目標は、国際ビジネスに関する諸能力の向上です。具体的には、将来国内のみならず、国外でも働きたいと考えているので、その際に求められる、異文化コミュニケーション能力、語学力、ビジネス（主に経営）の基礎知識、国際教養などのスキルの向上を目指しています。帰国後のTOEICテストで900点越え、フランス語検定準1級合格を目指しています。

生活面での目標は、フランスの文化を存分に満喫することです。特に、私は、将来、菓子職人として働きたいと考えているので、フランス菓子をできるだけ多く味わってみたいと思っています。また、商品パッケージ、店の内装・外装、その他、フランスならではの工夫などにも着目していきたいです。また、様々な国の人と交流して、多くの価値観に触れたいです。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

学習面での目的・目標は前述した通りです。初回近況報告書記入時点では、第二回の授業が終了しています。授業の理解度としては70%程です。英語が聞き取れないこともあるので、iPhoneで録音をして復習に役立っています。授業は20～30人程度の少人数によるもので、授業中に意見を共有する機会が多いのですが、発音、語彙力などの問題で自分の伝えたい内容をうまく表現できないことが多々ありました。今後は、積極的に発言することで自分の弱点を少しずつ克服していきたいです。また、大学には英語の書物があるのですが、限られているのでkindleを購入して、英語の読書量を増やす予定です。

生活面での目標も前述した通りです。今月は休日を利用して積極的に旅行をしたり、様々なフランス料理やフランス菓子を味わうことができたので順調です。これからは、リヨンから少し離れた場所にも行ってみたい予定です。人間関係に関しては、フランス人だけでなく、アメリカ、ブラジル、メキシコ、韓国など様々な国の学生と交流する機会があります。しかし、英語圏の友達と話すときは、自分の英語力不足を感じてしまうことも多々あるので、隙間時間などで、様々な表現を学び、よりスムーズな会話ができるよう努力しています。

3.3. 今月の学習・研修目標

まず、フランス語に関して、リスニングとライティングの能力が圧倒的に弱いので、フランス人の友達との積極的なコミュニケーション(一緒に昼食を食べるなど)、フランス語で毎日 YouTube を見るなど、できるだけフランス語を聞く機会を増やしたいです。

ビジネスの授業では、神奈川大学で学んだ知識を活かして、ケーススタディや先生の問い、グループワークなどで自分の意見をしっかりと論理的に説明できるようにし、一回の授業で一回以上発言するのが目標です。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	French civilisation(09:00~10:00)、Marketing and Innovation(14:00~17:00)
火	FLE※フランス語の授業(14:00~18:00)
水	Cross cultural management (11:00~14:00)
木	
金	Design of sustainable organization(8:00~11:00)、Human resource management(11:00~14:00)
土	
日	

4.2. 授業について

●French civilisation (1時間、週1回)

この授業は、フランスの歴史、文化、地理、芸術、政治、経済などフランスの文明を広く学ぶものです。初回近況報告書を書いている時点では、フランスの食文化(チーズ、ワインの種類や食べ方)とフランスの地理、歴史(簡単な地域・時代ごとの特徴)を学びました。先生はアメリカ出身で、聴きやすいスピードで丁寧に教えてくれるので理解度は比較的高いです。

●FLE (Français Langue Étrangère) (4時間、週1回)

この授業はフランス語の授業です。プレイスマンテストの結果によってクラスが決まります。自分のクラスは DELF の B1 レベル(仏検 2 級程度)のレベルでした。授業は全てフランス語で行われます。内容としては、フランス語の基本的な文法の学習から、会話(主に学習した表現を使う)、リスニング(学習教材やニュース、音楽を聞く)、ライティング(習った表現を使う)まで幅広いです。不定期でテストがあります。現時点で受けたものは、自分の故郷の魅力を今まで学習した知識(複合過去、半過去、感情表現、時間表現)を活かして 180 字以上で記述するものでした。理解度について初めは 50% くらいでしたが、回数を重ねるにつれて慣れていきました。

●Marketing and Innovation(3時間、週1回)

この授業は、マーケティングとイノベーションについて考えるものです。現時点で 2 回授業を受けたのですが、内容としては、マーケティングとイノベーションの基礎知識や重要な点を、身近な事例をもとに考えていくものです。先生は、フランスの方で、英語も比較的聞き取りやすいです。問いかけが多い授業なので、発言する機会は多いと思います。まだ、始まっていないのですが、グループプレゼンター

ションもあります。

●Cross cultural management（3時間、週1回）

この授業は、文化の違いを超えたマネジメントについて考えるものです。現時点で2回の授業を受けたのですが、内容としては、グローバル化の影響や世界経済を学び、それを踏まえてマネジメントを考えていくものでした。先生は、オーストラリアの方で、英語は聞き取りやすいのですが、しっかりと理解するには、語彙力がもう少し必要だと感じました。異文化社会集団に関するグループワークとグループレポートがあります。

●Design of sustainable organization（3時間、週1回）

この授業は、持続可能な組織について考えるものです。現時点で2回の授業を受けたのですが、内容としては、organization(組織)と sustainability(持続可能性)の意味や人類の進化と組織の進化について考えるものでした。先生はオランダ人で、ゆっくりと英語を話してくれるのでわかりやすいです。まだ始まっていないのですが、ケーススタディと持続可能な組織に関するプレゼンテーションがあります。

●Human resource management（3時間、週1回）

この授業は、人的資本管理論をグローバルな視点から考える授業です。現時点で二回授業を受けたのですが、内容としては、人的資源管理論の基礎、国際的なリクルートメントについて学習しました。先生は、ヨルダン人で、すこし英語に訛りがあるので聞き取りにくいです。授業の後半に毎回ケーススタディがあります。10分間事例を個人で読み、15分でグループで、状況、課題、解決策を考え、発表するものです。

4.3. 予習・復習・自習について

●French civilization

授業で扱ったスライドを、録音した授業を聞きながら復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。

●FLE

授業で扱ったフランス語を実際に使うことによって復習しています。宿題が出るのでわからないことがあれば、フランス人の友達に聞くようにしています。フランス語に関しては、自分が伝えられなかった単語や表現をポストイットに書き、部屋に貼るようにしています。

●Marketing and Innovation

授業で扱ったスライドを、録音した授業を聞きながら復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。

●Closs culultural management

授業で扱ったスライドを、録音した授業を聞きながら復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。また、グループで授業時間外に集まって話し合うこともあります。

●Desing of sustainable organization

授業で扱ったスライドを、録音した授業を聞きながら復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。

●Human resorce management

授業で扱ったスライドを、録音した授業を聞きながら復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。また、授業で扱ったケーススタディをもう一度自分で考えるようにしています。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
<ul style="list-style-type: none">・現在記入時点9月の終わりまでは基本的に、半袖と長ズボンで生活しています。10月の後半に両親がフランスにくるので、その際に日本から秋・冬服を持ってきてもらいます。・到着1週間後程度で、日本が恋しくなりました（特に、日本食、日本の友達）そのため、近くのアジアンスーパーマーケットで日本の調味料を購入したり、日本の友人と連絡を取っています。・日曜日は日本とは違い、ほとんどのお店が閉まっているので、授業の復習やフランス語の勉強、趣味のピアノ（こちらで安いキーボードを購入しました）などをしています。・フランスでは南京虫が発生するので、最低でも週に1度は部屋の掃除をするよう心がけています。	

5.2. 課外活動について

土曜日は、基本的にフランス国内外に旅行をしています。また、日曜日は大体のお店がしまっているので唯一開いているスーパーで買い物をしたり、スポーツジムでトレーニングをしたり、授業の予習・復習などを行っています。サークルはJAZZバンドに所属しています。
--

5.3. 現在までの感想

文化、言語の違いによるストレスは少なくはありませんが、様々な人の支えもあり楽しく生活できています。これからも日本人、神奈川大学の代表として留学に来ていることを忘れずに、心を常にオープンにし、様々なことに挑戦していくつもりです。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11 月)

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	リヨン第3大学 (フランス)		
所属プログラム・ 学部・研究科	SELF		
報告書提出日	2019年11月28日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

学習面での留学の目的・目標は、国際ビジネスに関する諸能力の向上です。具体的には、将来国内のみならず、国外でも働きたいと考えているので、その際に求められる、異文化コミュニケーション能力、語学力、ビジネス（主に経営）の基礎知識、国際教養などのスキルの向上を目指しています。帰国後の TOEIC テストで 900 点越え、フランス語検定準 1 級合格を目指しています。

生活面での目標は、フランスの文化を存分に満喫することです。特に、私は、将来、菓子職人として働きたいと考えているので、フランス菓子をできるだけ多く味わってみたいと思っています。また、商品パッケージ、店の内装・外装、その他、フランスならではの工夫などにも着目していきたいです。また、様々な国の人と交流して、多くの価値観に触れたいです。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

フランス語に関して、留学当初は授業を半分理解するのにも精一杯な状態でした。そこから、授業の予習・復習に加え、フランス人の友達とのコミュニケーション、サークルでの活動、他大学で行われている日本語の授業のアシスタントなどを通してフランス語力向上に努めています。現在は授業もストレスなくついていくことができるようになりました。今後も日常の中で積極的に使うことを意識して、フランス語能力の向上に努めたいです。

現在受けている 4 つのビジネスの授業では、それぞれにグループプレゼンテーションがあったのですが、語学力の問題もあり、思うようにリーダーシップを発揮することができませんでした。次のセメスターのグループプレゼンテーションでは、自信を持ってリーダーシップを発揮できるよう、移動時間での学術英語のリスニングや英語での読書などを通して、英語力とビジネスに関する諸能力の向上を図っていきます。

生活面では、サークルとして、JAZZ 研と LyoNippon（日本文化サークル）に所属し、また、INSA という他の大学の日本語の授業でアシスタントをしています。これらの活動を通して、様々な国籍の学生と交流しています。また、お菓子屋巡り（将来は菓子職人になりたい）も少しずつできています。（誕生日にパリにある世界で一番有名なパティシエの店に行きました）今後は、Facebook など様々なイベントを探し、学生以外のフランス人との交流も深めて、視野を広げていきたいです。

1.3. 今月の学習・研修目標

もう少しで冬休みに入り自由に使える時間が増えるので、次のセメスターに向けてフランス語の本を3冊、英語の本を5冊以上読むことで語彙力とリーディング力を高め、毎日のYouTubeでのリスニングも継続していきます。また、将来についても目標設定を含め具体的に考えていき、大学生活後半を有意義に過ごす準備をしていきたいです。

2. 学修について

2.1. 授業について

●French civilisation（1時間、週1回）

この授業は、フランスの歴史、文化、地理、芸術、政治、経済、宗教などフランスの文明を広く学ぶものです。先生はアメリカ出身の方で、英語は聞き取りやすいです。

中間テストと期末テストがあり、10月の後半に行われた中間テストは選択問題が40問で、12月の前半に行われる期末テストは選択問題が80問です。

●FLE (Français Langue Étrangère)（4時間、週1回）

この授業はフランス語の授業です。プレイズメンステストの結果によってクラスが決まります。自分のクラスはDELFのB1レベル(仏検2級程度)のレベルでした。授業は全てフランス語で行われます。内容としては、フランス語の基本的な文法の学習から、会話（主に学習した表現を使う）、リスニング（学習教材やニュース、音楽を聞く）、ライティング（習った表現を使う）まで幅広いです。留学当初は授業を半分理解するので精一杯でしたが、現在はストレスなく授業についていけています。中間テストと期末テストがあり、それぞれでリスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの能力が試されます。

●Marketing and Innovation(3時間、週1回)

この授業は、マーケティングとイノベーションについて考えるものです。内容としては、マーケティングとイノベーションの基礎知識(4P、ポーターのファイブフォース、SWOT分析、リスク分析)や重要な点を、身近な事例をもとに考えていくものです。先生は元々経営者として活躍されていたフランスの方で、英語も比較的聞き取りやすいです。問いかけが多い授業なので、発言する機会は多いと思います。また、グループプレゼンテーションがあり、内容は革新的なビジネスを投資家にプレゼンすることを想定したものです。期末テストはケーススタディでPC持ち込み可能です。

●Cross cultural management（3時間、週1回）

この授業は、文化の違いを超えたマネジメントについて考えるものです。授業で扱った内容としては、グローバル化、企業文化、モチベーション、ホフステッドの5次元、アイデンティティーなどです。先生は、オーストラリアの方で、英語は少し早いです。グループプレゼンテーションがあり、内容としては社会集団の分析でした。私のグループでは女性が経営している会社の分析をしました。期末テストはケーススタディでPC持ち込み可能です。

●Design of sustainable organization（3時間、週1回）

この授業は、持続可能な組織について考えるものです。扱った内容としては、持続可能性と組織の定義、

組織の歴史、企業文化、チームワークに関して、モチベーションなどです。先生はオランダ人で、比較的ゆっくりと英語を話してくれるのでわかりやすいです。期末テストは有りませんが、持続可能な組織を授業で扱った内容を踏まえて提案するファイナルレポートがあります。

●Human resource management (3時間、週1回)

この授業は、人的資本管理論をグローバルな視点から考える授業です。扱う内容としては、人材配属、職業訓練、報酬、社員評価、パフォーマンス、リーダーシップスタイルなどです。

先生は、ヨルダン人で、すこし英語に訛りがあるので聞き取りにくいです。授業の後半に毎回ケーススタディがあります。10分間事例を個人で読み、15分間で、グループで状況、課題、解決策を考え、発表するものです。企業を人的資源管理の観点から分析するグループプレゼンテーションがありました。私たちのグループはスターバックスについて分析しました。期末テストはケーススタディです。持ち込み可能です。

2.2. 予習・復習・自習について

●French civilization

授業で扱ったスライドを復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。

●FLE

授業で扱ったフランス語を実際に使うことによって復習しています。宿題が出るのでわからないことがあれば、フランス語(わからないときは英語)で調べたり、フランス人の友達に聞くようにしています。フランス語に関しては、自分が伝えられなかった単語や表現をポストイットに書き、部屋に貼るようにしています。

●Marketing and Innovation

授業で扱ったスライドを復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。グループで授業時間外に集まって話し合うこともあります。

●Cross culutural management

授業で扱ったスライドを復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。また、グループで授業時間外に集まって話し合うこともあります。

●Desing of sustainable organization

授業で扱ったスライドを復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。

●Human resorce management

授業で扱ったスライドを復習しています。わからないことがあれば、英語で調べるようにしています。グループで授業時間外に集まって話し合うこともあります。また、授業で扱ったケーススタディをもう一度自分で考えるようにしています。

2.3. 語学力について

フランス語に関しては、前述した通り、留学当初は授業を半分理解することで精一杯な状態でした。そこから、授業の予習・復習に加え、フランス人の友達とのコミュニケーション、JAZZ 研や LYONIPPON (日本文化サークル) などのコミュニティでの活動、他大学で行われている日本語の授業のアシスタント などを通してフランス語を学び、現在では授業もストレスなくついていくことができるようになりました。今後も日常の中で積極的に使うことを意識して、フランス語能力の向上に努めたいです。

英語に関しては、当初に比べ、授業の内容をより深く、ストレスなく理解できるようになりました。今までは、英語を話す時に自分で論理的に考えた英文を話していたのですが、今後はネイティブの話す英語をしっかりと聞き、それを真似することで、ネイティブが話す英語に近いものを話せるようにしたいです。また、kindle (電子書籍) も購入したので、定期的に洋書を読むことで語彙力を増やしていきたいです。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮 (その他:)
●衣	
●食	
●住	

●衣

- ・11月に入ってから、急激に気温が下がり、コート・マフラーを着用し始めました。

●食

- ・基本的には寮から歩いて5分のスーパーで食材を買い自炊をしています。朝は、基本的にシリアルで、昼・夜はパスタ (安く買える) やチャーハンなどを作っています。課題やテスト勉強など他のことに時間を割きたいときは、近くのパン屋さんを活用しています。
- ・フランスは野菜・果物が非常に安いですが、肉類 (特に魚) は高いです。
- ・パン屋さんのパンとお菓子がとても美味しいのでオススメです。
- ・私の寮はキッチンが共同なのですが、使った後に掃除をしない人がいるのでストレスを感じることがあります。

●住

- ・9月に銀行口座を開設するようにお願いしたのですが、フランスの銀行は仕事がとても遅く、結局開設できたのが11月でした。(5回ほど直接銀行に行きました)
- ・日本にいる友達と定期的に連絡を取ることは精神的に大切なことだと思います。
- ・リュックサックが刃物で切られていた (幸いにも何も盗まれていなかった) ことがあったので、トラムやメトロを利用するときには荷物管理を徹底する必要があります。

3.2. 課外活動について

●休日の過ごし方

休日は、旅行をしたり、授業の復習をしています。

●課外活動

Les Trublyon という JAZZ 研究会（毎週木曜日）と LyoNippon という日本文化サークル（不定期でイベントが行われる）に所属しています。また、INSA という大学で日本語の授業のアシスタントをしています。

●旅行

国内（フランス）では、アヌシー、サンテティエンヌ、トゥールーズ、パリに行きました。国外では、ドイツ（ケルン）、イギリス（ロンドン）、イタリア（フィレンツェ、ミラノ、ローマ、ヴェネチア）に行きました。

3.3. 現在までの感想

日本に比べ、学習面や生活面で苦勞したり、ストレスを感じることも多いですが、それを乗り越えることが、自分が身に付けたい諸能力の向上に繋がるのでタフに頑張ります。大学生活も早いことにもう少して後半戦です。フランスに来てから自分の将来やりたいことが少しずつ具体的にイメージできるようになりました。貴重な残りの2年間で有意義に過ごすためにも、「自分が何を成し遂げたいか」「どういう人間でありたいか」を常に考え、日々努力していきたいです。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（1月）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	リヨン第3大学 (フランス)		
所属プログラム・ 学部・研究科	SELF		
報告書提出日	2020年1月26日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

学習面での留学の目的・目標は、国際ビジネスに関する諸能力の向上です。具体的には、将来国内のみならず、国外でも働きたいと考えているので、その際に求められる、異文化間コミュニケーション能力、語学力、ビジネス（主に経営）の基礎知識、国際教養などのスキルの向上に加え、帰国後のTOEICテストで900点越え、フランス語検定準1級合格を目指しています。

生活面での目標は、フランスの文化を存分に満喫することです。特に、将来、菓子職人として働きたいと考えているので、フランス菓子をできるだけ多く味わってみたいと思っています。また、商品パッケージ、店の内装・外装、その他、フランスならではの工夫にも着目していきたいです。

また、様々な国の人と交流して、多くの価値観に触れたいです。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月はテスト期間でした。テスト形式は、フランス語・フランス文化の授業を除き、どの科目もケーススタディーです。日本の大学の知識や理解度を測るテストとは異なり、ケーススタディーでは、知識の定着と内容理解を前提とした、思考力を要求されるものであるため、正直、納得のいく答案を作れたとは言い難いです。しかしながら、新たな観点から学びの意味を再考することができた有難い機会でした。次回のテストでは、納得できる答案を作成できるよう、答えのない問題を考えることを中心とした受講・予習・復習を心掛けたいです。

冬休みは、語学力（英語・フランス語）を向上させるため、積極的に旅行先の情報や興味のある内容を英・仏語で読み聴きしました。そのお陰もあり、この冬休み期間を通して語学力を向上させることができたことと新学期の授業を通して実感することができました。ただ、どちらの言語もまだ納得のいくものではありませんので、引き続き4技能を意識した地道な努力をしていきたいです。

1.3. 今月の学習・研修目標

学習面に関して、授業の予習・復習の際に（主に復習）、学習した内容及び自分の意見を、英・仏語で表現する訓練を積むことでビジネスのスキルだけでなく語学力も向上させることを目標とします。そのために、復習の際は、わかりにくい内容や自分の意見を言語化する地道な学習を心がけています。また、授業とは別に隙間時間などを使い、ニュースやYoutubeなどを英・仏語で見聞きし、語

学力向上を心掛けます。

生活面では、フランス文化を満喫することに力を注ぎたいと考えており、そのためには、フランスに関する多面的な知識が必要だと考えます。したがって、日本から持ってきたフランスに関する本を読んだり、インターネットでフランスに関することを調べる（可能な限りフランス語で）ことで知識を蓄えていきたいです。そして、休日を利用してその知識を最大限に活かし、フランスを五感を通して感じる有意義な旅行ができればと思います。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	French civilisation(9:00-10:00) Global leadership(11:00-14:00) FLE(14:00-16:00) The challenges of taking western brands into secondary and emerging markets(17:00-20:00)
火	
水	International finance (14:00-17:00)
木	Negotiation and pitching in business contexts(14:00-17:00)
金	
土	
日	

2.2. 授業について

●French civilisation（1時間、週1回）

この授業は、前期と同様に、フランスの歴史、文化、地理、芸術、政治、経済、宗教などフランスの文明を広く学ぶものです。先生はアメリカ出身の方で、英語は聞き取りやすいです。

中間テストと期末テストがあり、2月の中旬に行われる中間テストは選択問題が40問で、4月の前半に行われる期末テストは選択問題が80問です

●FLE (Français Langue Étrangère)（2時間、週1回）

フランス語の授業です。クラスは前期のフランス語の習熟度に応じて決まります。自分のクラスはDELFのB1～B2の(仏検2級～準1級レベル)です。授業は全てフランス語で行われます。内容として、仮定法や接続法などの文法を1授業で1つずつ扱います。理解度に問題はありません。中間テストと期末テストに関して、具体的な内容はまだ開示されていません。

●Global leadership（3時間 週1回）

この授業は、国際的なビジネスシーンを意識したリーダーシップについて考えるものです。第一回の授業では、グローバル化のビジネスへの影響を再確認し、それを考慮した上で、リーダーに求められるスキルの全体像を学習しました。テスト形式は現時点では把握していませんが、中間地点でグループプレゼンテーションが予定されています。内容理解度に問題ははありません。先生は3人おり、交代で授業を行うようです。

●The challenges of taking western brands into secondary and emerging markets (3時間 週1回)

この授業は、事業拡大の際に直面する課題を理解し、どのように意思決定を行うべきかを考えるものです。第一回の授業では、事業拡大の意義、ゴール設定に関するビジネス用語の意義、PEST分析の確認を行いました。そして次回は、PEST フレームワークを用いた魅力的なマーケット分析結果に関するプレゼンテーションがあります。発表を行う機会が多い授業です。理解度に問題はありません。先生はイギリス出身の方です。

●International Finance(3時間 週1回)

この授業は、簿記や会計、投資理論に関するものです。第一回の授業では、損益計算書の構造を学び、エルメスの損益計算書を分析しました。特徴として、ケーススタディーを多く扱います。期末テストがありますが、具体的な内容はまだ把握していません。専門用語が数多く使われるため、理解が滞る時があります。先生はフランス出身の方です。

●Negotiation and pitching in business context (3時間 週1回)

この授業は、ビジネス場面における交渉にて重要なことを考えるものです。第一回の授業内容は、事業計画書の内容を確認、イギリスのビジネス番組 (Dragon's Den) 観覧、1分間プレゼンテーションでした。テストに関する情報は現時点ではありません。時折、英語が聞き取れないことがあります。先生はイギリス出身の方です。

2.3. 予習・復習・自習について

●French civilization

授業で扱ったスライドを復習し、わからないことがあれば英語で調べるようにしています。

●FEL

課題に加え、授業で扱った文法を、実際に使うことを意識して復習しています。また、フランス語で毎日、簡単な日記を書いたり、Youtube を見たり、調べ物をする事で地道なフランス語の向上を図っています。

●Global leadership

授業で扱ったスライドを復習し、わからないことがあれば英語で調べるようにしています。また、授業内容を踏まえた意見を言語化する訓練をしています。

●The challenges of taking western brands into secondary and emerging markets

授業で扱ったスライドを復習し、わからないことがあれば英語で調べるようにしています。また、授業内容を踏まえた意見を言語化する訓練をしています。

●International finance

授業で扱ったスライド・プリントを復習し、わからないことがあれば英語で調べるようにしています。また、授業内容を踏まえた意見を言語化する訓練をしています。

●Negotiation and pitching in business context

授業で扱ったスライド・プリントを復習し、わからないことがあれば英語で調べるようにしています。また、授業内容を踏まえた意見を言語化する訓練をしています。

2.4. 語学力について

英語に関して、授業には問題なくついていけるようになりました。しかし、自分の意見を思うように表現できないときがあるので、残りの留学期間で自分の考えを細かなニュアンスも含め表現できるよう、アウトプットを意識した学習をしていきたいです。それに加えて、日常生活において、ネイティブスピーカーの話す英語が聞き取れないことがあります。その原因として、発音と英語のリズムの重要性を等閑にしていたからと解しました。したがって、日々の生活は勿論、Youtubeなどを利用して、発音のルールを体得していきたいです。

フランス語に関して、英語と同様、授業には問題なくついていけるようになったのですが、日常会話となると聞き取れなかったり、思ってることが言えないことが多いです。単純な勉強不足だと思うので、授業の予習・復習、フランス語でのインターネットの利用など、引き続き現在の勉強習慣を維持していきたいです。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	------------

●衣

- ・12～1月は日本よりやや気温が低い(0～10度)ので、コート・マフラー・手袋は必須です。
- ・週に1度洗濯をします(洗濯3.3ユーロ、乾燥1.1ユーロ)
- ・日本から洗濯ネットを持ってくることをお勧めします。

●食

- ・基本的にパスタをメインとした自炊をしています。
- ・時折、アジアンスーパーで手に入れた材料で和食を作ります。
- ・パスタと野菜が安いです。
- ・パン・ケーキ・ワイン・チーズはとてもクオリティーが高く美味しいので、留学する際は事前に調べてくるとフランスをより満喫できるかもしれません。
- ・肉・魚が高いのでプロテインでタンパク質を摂るようにしています。
- ・リオンは美食の街なのでレストラン（特に旧市街にある）の料理が美味しいです。（コース料理で25ユーロほど）
- ・キッチンが共同です。

●住

- ・週に1度ほど掃除をすることを心がけています
- ・12～1月に雪は一度も降りませんでした。
- ・12月は曇りの日が多い印象です。
- ・学校まではメトロで10分ほどです。

- ・ジムに通っています。
- ・日本にいる友達と定期的に連絡することは大切だと思います。
- ・日本語・フランス語・英語で日記を書いています。
- ・金曜日、土曜日は街中でデモを行っていることが多いです。

3.2. 課外活動について

●休日の過ごし方

休日は、旅行をしたり、授業の復習をしています。

●課外活動

Les Trublyon という JAZZ 研究会（毎週木曜日）と LyoNippon という日本文化サークル（不定期でイベントが行われる）に所属しています。また、INSA という大学で日本語の授業のアシスタントをしています。

●旅行

国内（フランス）では、アヌシー、サンテティエンヌ、トゥールーズ、パリ、ストラスブールに行きました。国外では、ドイツ（ケルン）、イギリス（ロンドン・マンチェスター・リーズ・ヨーク・リバプール）、イタリア（フィレンツェ、ミラノ、ローマ、ヴェネチア）リトアニア（ヴィリユニス）に行きました。

3.3. 現在までの感想

留学も後半戦となりました。辛いこと、楽しいこと、全てを踏まえて、学びに満ち溢れた日々を送っています。このように充実した留学生活が送れているのも、両親、神奈川大学をはじめとする多くの人のおかげです。その事を肝に命じて残りの留学生活を送っていきます。

以上